班通信

No. 12

発熱する植物　ザゼンソウ

令和6年3月14日
さいたま市
岩槻班退職校長会
事務局：090-5826-3329（岡野）

令和5年度「現・退職校長教育推進協議会」を開催

２月３日（土）会員20名、現職校長15名が参加して行われました。また終了後は４年ぶりに現・退職懇親会も行いました。城南小学校坂本校長からは学習の個別最適化を図るためにタブレットやスタディサプリ、面談相談シートを活用した最先端の取り組みが発表され、現場を離れて久しい者は驚きをもって聞き入りました。

また、中山会員からは長年続けている蛍の飼育・放流や南三陸支援、子ども食堂などのボランティア活動について、貴重な体験に基づいて実践者ならではの説得力ある発表がありました。「活動を継続するには、心の繋がりを築くことが肝心」との指摘は、対外連携を模索する本会にも貴重な教訓となりました。発表のお二人に心より感謝申し上げます。

「まちかど雛めぐり」会場ボランティアで活躍

今年度も３月23日から開催され、恒例のボランティアに21名（役員外７名含）の会員が参加しました。今年は「つるし飾り」や一緒に写真の撮れる大きな内裏雛も登場し、一段と充実した展示でした。また本会で作成した各雛の「解説票」も展示しました。会場当番に当たっていただいた会員には岩槻の好印象を高めるのに一役買っていただき、ありがとうございました。

令和６年度定期総会（開催予告）

令和６年４月20日（土）に「ほてい家」で行います。今回は、新たな試みとして午前１１：３０開会で、総会終了後に昼食・懇親会を予定しています。

より多くの会員が参加できる計画を模索した結果、比較的休日の会員が多く、また安全を考慮して土曜日の昼間に開催します。旧交を温める数少ない機会であるとともに、一年間の運営計画を承認いただく大切な場ですので、是非多くの会員に出席していただけますよう、今から予定表のチェックをお願いいたします。

令和５年度の活動を振り返って

事務局長　　岡野　功

世の中の有り様はほぼコロナ前に戻った１年でありましたが、本会は、社会の実情を注視しながら事業を展開してきました。その結果、多くの成果が生まれました。ここにその要因と考えられるものを挙げてみます。

１　事業運営スタッフとしての会員の協力を得たこと

今年は日帰り研修、会報編集、現退職教育推協、まちかど雛めぐりに１２名の協力をいただきました。

２　研修会に浦和・与野・大宮各班からの参加を得たこと

他班から２つの企画研修会に計１３名の参加をいただきました。また現職校長にもご参加いただきました。

３　60代会員の参加でより活力ある退職校長会に

年末懇親会や現退職校長教育推協に多数の若手会員が参加。世代間の交流が図られ、親睦が深まりました。

４　初の児童センターでのイベント開催（長期休業日）

５名の会員が、計８コマの講座や展示を行い、参加者や館職員の好評を得ました。春休みも行います。

春休みの　岩槻児童センター連携事業

１　昆虫写真展「市内で見られる春のチョウたち」
　３月23日～5月15日（大河内会員担当）

２　竹細工教室　「竹のリングを作ろう」
　３月26日（火）13:30～（井上会員担当）

３　お話とスライド投影「モンシロチョウのひみつ」
　３月29日（金）13:30～（萩原会員担当）

４　ビックリ！実験ショー「笛って何？・笛を作ろう」
　４月２日（火）14:00～（大河内会員担当）

～～～